

政策 33 生活利便性の向上

施策 01 地域情報化の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	ICTの利活用による利便性の高い行政サービスが提供されます。

施策の成果状況と評価

指標	地域情報化の推進による市民満足度	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【行政管理課】	%	69.6	-	68.8	→
評価	(状況) 情報技術の活用により、市の行政サービスが便利になっていると回答した市民は68.8%で、前回のアンケートと比べ0.8ポイント減となります。内容を見ると、「そう思う」13.4%、「どちらかといえばそう思う」55.4%となっています。年齢別では、40代以上の年代において、ほぼ満足度が平均を上回っていますが、20代～30代の満足度は、平均より16ポイント低くなっています。 (原因) スマートフォンやタブレット端末などの機器は、若い年齢層を中心に広く普及しています。そうした情報機器を活用している年代の方々は、身近で便利な情報技術を活用した更なる行政サービスの充実及び向上を望んでいるものと思われます。						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 ICTの利活用による市民サービスの向上

基本事項 02 ICTの利活用による業務改革の推進

基本事項01 ICTの利活用による市民サービスの向上

指標	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		須賀川市のICTサービスを活用している市民割合 【行政管理課】	%	53.2	-	
評価	<p>(状況) 市のICTサービスを活用していると回答した市民割合は51.6%となっています。前回のアンケートと比べ、1.6ポイント減となります。内容を見ると、税金、水道料金のコンビニ納付、クレジット納付が23.4%、市ホームページで行事イベントや手続き等の確認が21.5%、住民票の写し、証明書等のコンビニ交付が21.0%となっています。</p> <p>(原因) 市ホームページの活用、証明書コンビニ交付、クレジット納付は、市役所に来ることなく、休日や夜間などにも利用できるサービスであることから、利用率が高くなっているものと思われる。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成</p> <p>III (高)</p>

基本事項01 ICTの利活用による市民サービスの向上

指標	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		市ホームページのアクセス件数 【行政管理課】	件	1,170,000	1,858,579	
評価	<p>(状況) 市ホームページへのアクセス件数は2,011,632件で、前年度と比べ8.2%の増となっています。</p> <p>(原因) スマートフォンやタブレット端末の普及により、インターネットを活用して情報検索する人が年々増えているのが要因と思われます。</p>					<p>(向上)</p> <p>目標達成</p> <p>IV (達成)</p>

基本事項01 ICTの利活用による市民サービスの向上

指標	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		電子メールを活用して市民提案を行った割合 【秘書広報課】	%	48.8	46.3	
評価	<p>(状況) 電子メールを活用して市民提案を行った割合は35.2%で、前年度と比べ11.1ポイント(13件)の減となっています。</p> <p>(原因) 105件の提案のうち電子メールでの提案は37件で、市の施設に関するものが8件、教育に関するものが6件などです。また、前年度との比較では行政組織に関するものが5件、道路に関するものが5件減少しました。市では、市広報紙やホームページに市民提案制度や提案内容、件数を掲載し、市民提案制度の周知に努めています。</p>					<p>(低下)</p> <p>目標達成</p> <p>---</p>

基本事項02 ICTの利活用による業務改革の推進

指標	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		基幹系システムダウン回数(保守点検時除く) 【行政管理課】	件	0	0	
評価	<p>(状況) 窓口サービスに影響するような事故、障害等の発生もなく、安定稼働が図られました。</p> <p>(原因) クラウドサービスの利用によるシステム及びサーバ機器等の集中管理、定期メンテナンス及びバックアップの実施、システム運用におけるSLA調査の実施など、基幹系システムを停止させないための運用管理がしっかりと出来ていた結果と思われます。</p>					<p>(向上)</p> <p>目標達成</p> <p>IV (達成)</p>

政策 33 生活利便性の向上

施策 02 公共交通網の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	交通不便地域が解消され、移動手段が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	65.4	-	67.2	→
評価	(状況) 公共交通が利用しやすいと思う市民の割合は67.2%でした。平成26年度の調査では65.4%であり、数値は上昇しましたが、ほぼ横ばいであると考えられます。特に、バスや乗合タクシー運行に対するアンケート結果では、20代で10ポイント、70代で18ポイント、75歳以上で28ポイントの上昇となりました。 (原因) 路線バスとともに、循環バス、乗合タクシーが認知されてきたことが要因の一つであると想定されます。						目標達成度 ■■■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 総合交通体系の推進

基本事項 02 交通弱者や交通不便地域の解消

基本事項 03 福島空港の利活用推進

基本事項01 総合交通体系の推進

指標	各種バス年間利用者数 (乗合タクシー+東西循環+福島交通) 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		人	345,570	337,441	323,703	→	
評価	<p>(状況) 各種バス年間利用者数は323,703人で、前年度と比べ13,738人減少しています。内訳は、乗合タクシーは56人減少、東西循環バスは1,959人増加、路線バスは15,641人減少しています。公共交通利用者は減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 病院や買い物等、日常生活に密接な利用においての利用者は増加していますが、通勤等の比較的遠距離においては、バスに頼らず、自家用車等の利用が多いことが考えられます。</p>	---					

基本事項01 総合交通体系の推進

指標	市内鉄道2駅(須賀川駅・川東駅)利用者数(1日平均乗車人員) 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		人	2,395	2,396	-	→	
評価	<p>(状況) 須賀川駅、川東駅の1日平均乗車数は2,396人で、平成26年度と平成27年度の直近値を比べても、1人の増加にとどまっており、ほぼ横ばいです。現在、須賀川駅は上り24本、下り23本、川東駅は上り10本、下り11本が運行されており、平成26年度と変動はありません。</p> <p>(原因) 市内循環バスの利用者数の増加や須賀川駅との乗り継ぎ時間の利便性の向上を図ったことが、乗車数の維持に効果を上げているものと思われます。</p>	---					

基本事項02 交通弱者や交通不便地域の解消

指標	公共交通カバー面積率(乗合タクシーの運行地域面積/可住地面積) 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	65	65	65	95	
評価	<p>(状況) 公共交通カバー面積率は65%で、前年度から変更はありません。</p> <p>(原因) 乗合タクシーは、路線バスの代替手段であり、平成25年度に運行エリアの再編以降、路線の廃止がなかったことが要因となっています。</p>	■ (中)					

基本事項02 交通弱者や交通不便地域の解消

指標	交通手段がなくて困っている市民割合 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	10.7	-	6.5	→	
評価	<p>(状況) 交通手段がなくて困っている市民割合は6.5%です。平成26年度の実績値は10.7%であり、4.2ポイント減少しました。</p> <p>年齢別では、70歳以上になると、10%以上の方が困っているとの回答となっています。また、地域別では、小塩江地区13%、大東地区9%、長沼地区10%が困っているとの回答となっており、平均値より高くなっています。</p> <p>(原因) 前回のアンケートでは70歳以上が24.3%、今回は19.5%となっており、年代差による変動が要因と考えられます。地域別では、前回同様、郊外地域での交通手段で困っている割合が高くなっています。</p>	---					

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 総合交通体系の推進

基本事項 02 交通弱者や交通不便地域の解消

基本事項 03 福島空港の利活用推進

基本事項03 福島空港の利活用推進

指標	福島空港の利用者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	254,199	247,706	246,000	→
評価	<p>(状況) 福島空港の平成28年度の利用者数は246,000人で、前年度に比べ約1,700人減少しました。平成28年度の利用率は、札幌便は61.8%から59.4%に減少しており、大阪便は、56.1%から56.7%に増加しています。チャーター便については国内線・国際線を合わせ29便から39便に増加しています。</p> <p>(原因) 札幌便の便数が1日2便から1日1便に減少したことや、悪天候による欠航が多かったこと、さらに9月の大型連休が分散したことが利用者減の原因と考えられます。</p>					目標 達成度	---

基本事項03 福島空港の利活用推進

指標	福島空港の定期路線数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	路線	2	2	2	→
評価	<p>(状況) 国内線の札幌路線(1日1往復)、大阪路線(1日4往復)の2路線が運航されています。国際線については、東日本大震災以降、運休中となっています。震災以降は路線数の増減がありません。</p> <p>(原因) 国際線については、東日本大震災における原子力災害による影響が大きいと考えられます。</p>					目標 達成度	---

政策 34 住環境の充実

施策 01 快適道路網の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置づけされている都市計画道路、市民	道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	道路の整備状況について満足であると思う市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	71.7	-	74.6	→
評価	(状況) 道路の整備状況について満足であると思う市民の割合は74.6%です。前回調査より2.9ポイント増加しています。 (原因) 道路改良や舗装修繕を継続実施していることが満足であると思う市民の割合の増加につながっています。						(向上)
							目標達成度 ---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 生活道路の整備促進

基本事項 02 道路維持管理の推進

基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進

基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項01 生活道路の整備促進

指標	市道の改良率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	64.0	64.1	64.2	→
評価	(状況) 市道の改良率は64.2%で、平成24年度基準値の61.3%より2.9ポイント、前年度より0.1ポイント向上しています。 (原因) 道路の改良事業は、総合計画の目標を達成しています。朝日田地内の事業が完了しました。						☑️ 目標達成度 🏰 (達成)

基本事項01 生活道路の整備促進

指標	市道の舗装率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	70.0	70.2	70.3	→
評価	(状況) 市道の舗装率は70.3%で、平成24年度基準値の69.5%より0.8ポイント、前年度より0.1ポイント向上しています。 (原因) 道路の舗装事業は、地域住民の生活環境や利便性向上のため、主に、生活道路等について、利用状況などを精査しながら整備を進めています。平成28年度は13路線、延長632.0mの舗装をしました。						☑️ 目標達成度 🏰 (達成)

基本事項02 道路維持管理の推進

指標	市が管理する道路照明施設の修繕実施率（総合計画開始時からの累計）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	6.0	18.5	22.0	→
評価	(状況) 道路照明施設の修繕率は22.0%で、前年度より3.5ポイント向上しています。 (原因) 須賀川第二小学校西側の市道 -19号線において、歩道上の照明灯のうち腐食などが進んだ6基を撤去し、LED照明灯に建替えています。灯具をLED化することにより、省電力、長寿命が可能となり、維持管理費の抑制に努めています。						☑️ 目標達成度 ---

基本事項02 道路維持管理の推進

指標	認定市道（級・級幹線）の路面修繕実施率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	13.8	20.7	24.1	→
評価	(状況) 認定市道（級・級幹線）の路面修繕実施率は24.1%で、前年度と比べ3.4ポイント向上しています。 (原因) 平成28年度は8路線、8箇所にて延長1168mの舗装打換等の路面修繕を行いました。路面性状調査において修繕を必要とする市道は29路線あり、修繕箇所が多いため進捗には期間を要します。						☑️ 目標達成度 ▬▬ (中)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 生活道路の整備促進

基本事項 02 道路維持管理の推進

基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進

基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項02 道路維持管理の推進

指標	道路維持管理上の不具合による事故発生件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【道路河川課】	件	1	2	3	→
評価	(状況) 道路維持管理上の不具合による事故発生件数は3件で、前年度と比べ1件増加となっています。 (原因) 法面や路面性状の不具合の早期発見ができなかったためです。					目標達成度 ■■■ (低)	

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標	橋りょう長寿命化修繕計画における橋りょうの修繕率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【道路河川課】	%	0	5	5	→
評価	(状況) 橋りょう長寿命化修繕計画における橋りょうの修繕率は5%です。修繕を実施しましたが、年度内に完了した橋りょうはありませんでした。このため橋りょうの修繕率は前年度と同じです。 (原因) 4橋(八沼橋、新栄橋、111号橋、709号橋)修繕を実施しています。事業費の補正により平成29年2月発注となり、年度内で工事が完了しませんでした。事業は次年度へ繰越しとなり、修繕済の橋りょう数は5箇所のみです。					目標達成度 --- ---	

基本事項04 都市計画道路の整備

指標	都市計画道路の整備率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【都市整備課】	%	83.9	83.9	83.9	→
評価	(状況) 都市計画道路の整備率は83.9%で前年度と同じです。 (原因) 重要な幹線道路と位置づけられている関下一里坦線の整備を進めているところですが、補助金の交付額が低かったことから、平成28年度は用地取得が主となり、道路改良工事を行っていないためです。					目標達成度 ■■■ (低)	

政策 34 住環境の充実

施策 02 快適都市空間の創出

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されています。

施策の成果状況と評価

指標	秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されていると思う市民の割合 【都市整備課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		%	50.1	-	50.7	→	☀
評価	(状況) 秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されていると思う市民の割合は、50.7%となっています。内容を見ると、「そう思う」が13.0%、「どちらかといえばそう思う」が37.7%となっています。前回と比べ、ほぼ同じ傾向が見られます。また、年齢別では、子育て世代20～40歳代で満足度が高い傾向にあります。 (原因) 区画整理等により整然とした街並みが整備されているため、割合が高い傾向にあると考えられます。また、市街地では近くに利用しやすい公園があるため、子育て世代の満足度が高い傾向にあると考えられます。	(％) 				(向上) 目標達成度 ---	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	公園緑地等整備保全の推進
基本事項 02	適正な土地利用の推進
基本事項 03	市街地整備の推進
基本事項 04	良好な景観形成・保全の推進
基本事項 05	生活衛生の向上

基本事項01 公園緑地等整備保全の推進

指標	公園に対する住民満足度	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	%	78.3	-	81.1	→	(向上)
評価	(状況) 公園に対する住民満足度は81.1%で、前回より2.8ポイント向上しています。内容を見ると「満足」6.7%、「やや満足」19.0%、「ふつう」55.4%となっています。地区別で見ると、前回に比べ西袋地区の満足度が高まり、稲田、長沼、岩瀬地区の満足度が低い傾向にあります。 (原因) 西袋地区の満足度が高まったのは、山寺池公園が整備されたためと考えられます。また、稲田、長沼、岩瀬地区の満足度が低い傾向にあるのは、公園が少ないことが影響していると思われます。						目標達成度

基本事項01 公園緑地等整備保全の推進

指標	市民一人当たりの都市公園供用面積	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	m ²	10.94	11.36	11.37	→	(向上)
評価	(状況) 市民一人当たりの都市公園供用面積は、11.37m ² で前年度と比べて、ほぼ横ばいです。総合計画の目標値(平成29年度)である10.99m ² は、達成しています。 (原因) 今年度は都市公園の新規整備はなく、供用面積に大幅な増減がなかったため、ほぼ横ばいとなっています。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 公園緑地等整備保全の推進

指標	公園維持管理上の不具合・トラブル件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	件	32	29	30	→	(向上)
評価	(状況) 公園維持管理上の不具合・トラブル件数は30件で、前年度と比べほぼ横ばいです。内容的には、トイレや遊具など施設の不具合に関するものが7件、樹木の伐採等に関するものが19件、公園の利用やマナーに関するトラブルが4件となっています。 (原因) 施設の不具合等の件数は、定期点検による早期修繕により、前年度に比べ減っているものの、樹木の高木化による枝張りや老木化による倒木等に関する苦情が増加の傾向にあります。今後、定期点検を強化し、支障樹木の剪定、早期伐採を行います。						目標達成度

基本事項02 適正な土地利用の推進

指標	違反是正の行政指導を行った建築物等の数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【建築住宅課】	棟	1	2	0	→	(向上)
評価	(状況) 違反是正の行政指導を行った建築物等の数はありませんでした。 (原因) 安全に建物を建てるための意識の向上が、建築主、施工業者の皆さんに広く見受けられます。今後も、パンフレットの配布や、建築パトロールにより、違反建築防止のための周知等を継続していきます。						目標達成度

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 公園緑地等整備保全の推進

基本事項 02 適正な土地利用の推進

基本事項 03 市街地整備の推進

基本事項 04 良好な景観形成・保全の推進

基本事項 05 生活衛生の向上

基本事項03 市街地整備の推進

指標	市街化区域内の未利用地面積	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【都市整備課】	km ²	3.6	3.5	3.4	→
評価	(状況)市街化区域内の未利用地面積は3.4km ² で、前年度に比べ約1.5%減少しました。 (原因)開発行為等により土地利用が進みました。						☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事項04 良好な景観形成・保全の推進

指標	都市景観が良好だと思ふ市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【都市整備課】	%	83.2	-	82.6	→
評価	(状況)都市景観が良好だと思ふ市民の割合は82.6%で、「ふつう」が61.3%で最も多く、「満足」が3.8%、「やや満足」が17.5%になっています。満足度が前回から0.6ポイント下がっていますが、統計誤差の範囲と思われます。 (原因)アンケートで「ふつう」が多く「満足・やや満足」が低い傾向になっているのは、街路整備等がほぼ完了している市内中心部では街並はきれいである半面、空地や閉店したままの店も多く見られることから、全体的に魅力が感じられないためと考えられます。						☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)

基本事項05 生活衛生の向上

指標	計画通りに廃棄物が収集運搬されなかった日数の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【環境課】	%	0.4	0	0	→
評価	(状況)平成28年度の収集運搬計画日数(平日、年末年始を除く)259日のうち、計画通りに廃棄物が収集運搬されなかった日はありませんでした。委託契約に基づき計画通りに一般廃棄物が収集されています。 (原因)台風や大雪などの災害も無く、天候が順調に推移したため、一般廃棄物の収集運搬に支障は無く、計画どおり収集しました。						☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事項05 生活衛生の向上

指標	生活衛生に関する苦情件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【環境課】	件	43	29	47	→
評価	(状況)生活衛生に関する苦情件数は47件となっています。主な苦情としては、「雑草の繁茂」が32件、「土地の適正管理」が7件、「ハチの巣駆除」が4件、「虫の大量発生」が1件となっています。前年度と比べて合計で18件増加しています。 (原因)一般家庭の隣家からの通報が多くなっています。なお、土地の所有者や管理者に対しては、口頭・文書による適正管理の要請を行っています。						☔ (低下)
							☔ (低下)

政策 34 住環境の充実

施策 03 安全・安心な水、いつでも、いつまでも

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民 河川水質	安定して安全・安心な水を利用しています。 良質な水環境を形成するために生活排水処理を適切にする世帯が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標	水質異常・断水等の件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【水道施設課】	件	11	9	9	→
評価	(状況) 水質異常・断水等の件数は9件で、内訳はすべて断水等の件数です。水質の異常は発生していません。 (原因) 施設等の維持管理及び水質検査を適正に実施していることが上げられます。					☀ (向上)	
							☀ (向上)

指標	汚水処理率 (下水 + 農集排 + 合併浄化槽)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【下水道施設課】	%	75.0	80.5	81.2	→
評価	(状況) 汚水処理率は81.2%で、前年度より0.7ポイント増加しました。また、平成24年度基準値の74.9%に比べても6.3ポイント増加し、順調に成果が向上しています。 (原因) 下水道事業では管路L=4,893mと公共ますN=254箇所を整備しました。農業集落排水事業では大桑原地区と上江花地区の施設整備が完了し、稲・松塚地区については汚水処理施設の供用開始から2年が経過したことや管路L=1,124mと公共ます38箇所を設置したことから、汚水処理施設の使用が可能となった世帯が増加しています。					☀ (向上)	
							☀ (向上)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	重要施設の耐震化
基本事項 02	基幹管路の耐震化
基本事項 03	水質検査の充実
基本事項 04	水道施設の適正管理の推進
基本事項 05	下水道の整備促進
基本事項 06	下水道の普及啓発の推進

基本事項01 重要施設の耐震化

指標	重要水道施設の耐震化率（浄水施設）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【水道施設課】	%	39.4	39.4	39.4	→	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 浄水施設の耐震化率は39.4%で、平成24年度基準値から同じです。なお、平成27年度福島県の浄水施設耐震化率の24.1%と比べると15.3ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 基準値は、全浄水場施設能力37,565m³/日(全10施設)のうち14,800m³/日(7施設)の耐震化により耐震化率は39.4%となっています。現在、改築を行っている西川浄水場(19,500m³/日)が完了(平成33年度完了予定)すると、浄水施設の耐震化率は91.3%となる見込みです。</p>						目 標 達 成 度
		■ ■ (中)					

基本事項02 基幹管路の耐震化

指標	基幹管路の耐震化率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【水道施設課】	%	43.8	43.8	43.8	→	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 基幹管路の耐震化率は、前年度と同じ43.8%ですが、平成24年度基準値の42.6%と比べると1.2ポイント上回っており、成果が向上しています。しかし、平成27年度福島県の基幹管路耐震化率51.9%と比べると8.1ポイント下回っています。</p> <p>(原因) 平成28年度は、基幹管路以外の優先する管路布設替事業を行ったためです。</p>						目 標 達 成 度
		■ ■ (中)					

基本事項03 水質検査の充実

指標	水質基準不適合率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【水道施設課】	%	0	0	0	→	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 水質基準不適合率は0%です。1年間で水道法に基づく基準項目を218回の水質検査を実施した結果、水質基準不適合回数は0回であり、目標を達成しています。</p> <p>(原因) 上記の水質検査を実施し、安全で安心な水道水の供給を確認しています。</p>						目 標 達 成 度
		🏰 (達成)					

基本事項04 水道施設の適正管理の推進

指標	水道施設維持管理上の不具合・トラブル件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【水道施設課】	件	5	1	1	→	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 水道施設維持管理上の不具合・トラブル件数は、前年度と同じ1件です。</p> <p>(原因) 水道施設維持管理等を年間を通して適正に実施しているためです。</p>						目 標 達 成 度
		■ ■ ■ (高)					

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	重要施設の耐震化
基本事項 02	基幹管路の耐震化
基本事項 03	水質検査の充実
基本事項 04	水道施設の適正管理の推進
基本事項 05	下水道の整備促進
基本事項 06	下水道の普及啓発の推進

基本事項05 下水道の整備促進

指標	下水道整備率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	70.6	71.5	73.9	→	☀ (向上)
評価	集合処理						☀ (向上)
	<p>(状況) 下水道整備率は73.9%で、前年度より2.4ポイント増加し、平成24年度基準値の69.1%に比べても4.8ポイント増加しており、順調に成果が向上しています。</p> <p>(原因) 下水道事業では、和田道地区、森宿地区の管路整備を実施したことや小作田地区において、小作田浄化センターが完成し、一部区域で供用が開始されました。これにより、下水道施設を使用できる土地面積は、前年度より30.2ヘクタール増加し、整備面積の累計が925.7ヘクタールとなったためです。</p>						☀ (向上)

基本事項05 下水道の整備促進

指標	農業集落排水利用可能世帯割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	62.1	92.4	99.0	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 農業集落排水利用可能世帯割合は99.0%で、前年度より6.6ポイント増加しています。また、平成24年度基準値の15.2%から83.8ポイント増加しており、順調に成果が向上しています。</p> <p>(原因) 大桑原、上江花、稲・松塚地区の3地区における農業集落排水事業では、大桑原及び上江花地区が事業最終年度であり、すべての管路整備が完了したことに加え、稲・松塚地区の管路整備と併せて、宅内に公共ますを設置し使用できるようになった家屋数が38戸増加し、ます整備済数の累計は511戸となったことが原因です。</p>						☀ (向上)

基本事項06 下水道の普及啓発の推進

指標	公共下水道 水洗化率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	79.3	79.4	79.7	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 公共下水道水洗化率は79.7%で、前年度より0.3ポイントの増加となっています。また、平成24年度基準値の79.3%に比べ、0.4ポイントの増加となっています。</p> <p>(原因) 処理区域内水洗化人口が427人と前年度より1.5%増加し、処理区内人口についても、工事の進捗により供用開始区域が広がり、393人増加しています。公共下水道への接続は個人負担となり時間を要するため、指標値は微増となっています。</p>						☀ (向上)

基本事項06 下水道の普及啓発の推進

指標	農業集落排水施設 水洗化率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	93.6	86.2	88.8	→	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 農業集落排水施設水洗化率は88.8%で、前年度より2.6ポイントの増加となっています。また平成24年度基準値の93.1%に比べ、4.3ポイントの減少となっています。</p> <p>(原因) 上江花地区、大桑原地区の2地区の施設整備が完了したことや、稲・松塚地区で供用開始区域が拡大したため、処理区域内水洗化人口は昨年度よりも230人増加しています。しかし、処理区内人口が転居などにより102人減少し、また、農業集落排水への接続には個人負担による接続となり時間を要するため、指標が微増となっています。</p>						☔ (低下)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 重要施設の耐震化

基本事項 02 基幹管路の耐震化

基本事項 03 水質検査の充実

基本事項 04 水道施設の適正管理の推進

基本事項 05 下水道の整備促進

基本事項 06 下水道の普及啓発の推進

基本事項07 下水道施設の維持管理の推進

指標	管渠維持管理上のトラブル件数 (陥没、詰まりによる吹き出し) 【下水道施設課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	14	4	3	→	
評価	(状況) 管渠維持管理上のトラブル件数は3件で、前年度より1件減少し、成果が向上しています。 (原因) 作業員による定期的なパトロールでマンホール等の点検を実施し、必要となる管清掃や修繕箇所の把握に努めているためです。						(向上)
		目標達成度 (中)					

基本事項07 下水道施設の維持管理の推進

指標	汚水処理場に関する維持管理不具合・トラブル件数 【下水道施設課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	3	2	0	→	
評価	(状況) 汚水処理場に関する維持管理不具合・トラブル件数はありませんでした。 (原因) 緊急通報システムを計画的に導入して、異常等に対し迅速に対応しています。また、専門的知識を有する業者の業務委託により、処理施設の適切な運転管理や汚水処理が行われているためです。						(向上)
		目標達成度 (達成)					